



2025 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 トーヨーカネツ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 大和田 能史
(コード番号 6369、東証プライム)
問 合 せ 先 取締役 米原 岳史
専務執行役員
(TEL. 03-5857-3333)

2026 年 3 月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025 年9月 24 日に公表した 2026 年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年3月期 第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する中間 純利益	1株当たり 中間純利益※
前回発表予想(A)	百万円 28,400	百万円 1,650	百万円 1,670	百万円 1,100	円 銭 142.20
実績(B)	27,480	2,307	2,461	1,653	213.23
増減額(B-A)	▲920	657	791	553	
増減率(%)	▲3.2	39.8	47.4	50.3	
(ご参考) 前年同期実績 (2025 年3月期第2四半 期)	28,475	1,917	2,038	1,616	209.60

※注) 当社は 2025 年 12 月 31 日を基準日(2026 年1月1日を効力発生日)として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を予定しておりますが、1株当たりの中間純利益の計算は当該株式分割前の株数によっております。

2. 差異の理由

プラント事業において、収益認識に関して原価回収基準をとる国内製油所向けメンテナンス案件のうち未成工事にかかる当中間期末までの原価の発生が想定を下回ったことから、売上高は前回発表予想を若干下回りました。一方、主力の物流ソリューション事業における原価削減の取り組みのうち、下期に見込んでいた一部の原価削減効果が上期に発現したことや、同事業の販管費の一部が下期に期ずれとなったこと等により、営業利益は前回発表予想を上回りました。

なお、通期の連結業績につきましては、下期の進捗状況を引き続き見極める必要があるため、前回公表の業績予想を据え置いております。今後、修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しでありますので、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上